

報道資料提供（令和4年9月8日提供）

担当課	福祉保健部健康局医務課
担当者	宮永・仲
電話	073-441-2085(直通) / 内線 2084

県立医科大学の令和3事業年度業務実績に関する評価結果について

和歌山県公立大学法人評価委員会（知事の附属機関、委員長 辻 省次）が行った、公立大学法人和歌山県立医科大学に係る「令和3事業年度の業務実績に関する評価結果」を地方独立行政法人法に基づき公表します。

1 全体評価

第3期中期計画（平成30年度～令和5年度）の達成に向け、全体的には概ね順調に進んでいる。

＜年度計画記載175項目の実施状況＞

- 22項目 … 「年度計画を上回って実施している」
- 146項目 … 「年度計画を十分に実施している」
- 7項目 … 「年度計画を十分には実施していない」

2 主な評価及び指摘

＜評価事項＞

- 教育 ○ 令和3年4月に薬学部を開設し、医療系総合大学として歩みを進めた。大学説明会やオープンキャンパス等を通じた積極的な広報活動の取組により、入試出願者数が増加した。
- 新卒者の看護師・助産師国家試験合格率100%を5年連続で維持した。
- 診療 ○ 入院患者の一貫した支援を目的に、PFM（Patient Flow Management「入退院時支援」）を立ち上げ、病院長のリーダーシップのもと、病院全体の取組として診療科を順次拡大した。
- 医薬品や医療材料について、全国の大学病院等の購入実績を参考に価格交渉を実施するとともに、後発医薬品の導入に取り組んだ結果、約1億7千万円の医薬材料費を削減した。

＜指摘事項＞

- 教育 ● 大学院入学者が定員に満たない。
- 研究 ● 研究成果の民間事業者等への技術移転について、具体的な成果が見られない。

【評価委員会 委員】（任期）令和4年4月1日～令和6年3月31日

氏 名	役 職 等（◎委員長、敬称略）
◎辻 省次	国際医療福祉大学大学院・医学部教授
今中 雄一	京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授
阪越 信雄	紀南病院病院長
坂本 すが	東京医療保健大学副学長 公益社団法人日本看護協会前会長
瀬戸 嗣郎	静岡県立こども病院名誉院長・参与 市立岸和田市民病院顧問
三木 義男	筑波大学客員教授